



「今月の夢追い人」
 アサヒ電子(株)

特集 土産品・食材から観光情報まで
道の駅ふくしま





点眼補助ロボット、点眼補助機「めぐさぼ」。子どもから高齢者まで安心して点眼ができる



アサヒ電子株式会社

本社工場 〒960-0426 福島県伊達市坂ノ下15
☎024-584-2111
☎024-584-2114
第二工場 〒960-0111 福島県福島市丸字中ノ町17-1
☎024-554-2111
☎024-554-2116

福島の地でモノづくりを支え続ける

福島の地で高品質な製品を作り続ける

福島市と伊達市に2か所の工場を有するアサヒ電子株式会社は、菅野寿夫社長のお父様が1984年に創業し、今年で41期目を迎えました。菅野社長は3代目として2012年に社長に就任。以来「モノづくり」に対する熱い情熱を社員と共に製品に注いできました。

EMS企業として電子機器の開発設計から製造までを行い、モノづくりのいわばプロフェッショナルである同社。創業当時はVHSビデオデッキやビデオカメラ、液晶ビューカムなどを作り、時代の流れとともに、携帯電話や車の部品を製造してきました。

長年に渡り安定した技術で電子製品を作り続ける同社ですが、初めて医療・福祉関連の製品開発にも取り組みました。

きっかけは製造業者と医療福祉分野との連携を図る「ふくしま医療関連ビジネス研究会」に加入する同社に、福島県立医科大学から「白内障や緑内障など目に疾患がある高齢者や点眼が苦手な方向けに、点眼を補助できる製品があると良いが…」と製品開発のヒントを頂いたことが始まりです。

そして開発されたのが「点眼補助機、点眼補助ロボット（めぐさぼ）」で、光や音で患者の適切な姿勢や角度を教えてくれる機能などが搭載されています。開発に至るまで2年ほど試行錯誤を繰り返したと言い、一見すると完成品に見えますが、さらに信頼性のある試験を通して商品化を目指していきたいと話します。

製品に自信があるからこそ、適正価格でビジネスを

「モノづくりを長年してきたからこそ『安かろう、悪かろう』は絶対したくない」と菅野社長。高品質なものを安く作り、提案力を活かしながらお客様の問題解決に近づけていくことが、グローバル社会での我々の強みになると話します。

働きやすい環境づくり

また、同社では現在派遣社員を含め約350人の従業員が働いており、社員が心身ともに健康で働けるようにワークライフバランスの実現にも積極的に取り組んでいます。子育てと両立しながら働く社員も多いそうで、「ウェル・ビーイング®という言葉があるように、社員の心理的安全性を確保したく、そのためには働く上でコミュニケーションが一番不可欠」と話し、「言いたいことは言い合って、解決策をみんなで導いていける、そんな職場を目指している」と菅野社長。社員の中には親子で働いている方もいるそうで、家族や周りの方にも良い会社だと誇りをもって言える会社になりたいと笑顔で話します。

さらに、研修制度をはじめ新入社員歓迎会や、地域の幼稚園で奉仕活動を行い、秋には社員が親子で一緒に参加できる運動会を開催するなど、「長く働き続けられる環境を整えることはもちろん、イベントを通して子どもたちに父親や母親が働いている会社を直接見せることができる場になれば」と話します。

今後は、「めぐさぼ」のような医療や福祉に携わる製品の開発経験を元に、自社ブランドを含めた新しい製品開発にも積極的に取り組んでいきたいと話す菅野社長の目は希望に満ちあふれています。社員と共に製品作りに真摯に向き合い、働きやすい環境作りにも気を配り社員を大事にされるお姿に敬服するばかりです。

※個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。

